

令和6年度 学校経営計画

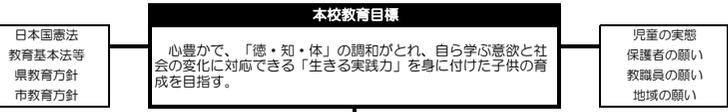


諫早市立森山西小学校

（学校経営目標の意図）

令和6年元日に発生した能登半島地震は、新年を祝うムードを一変させた。また、昨今の世界情勢では、ウクライナやパレスチナの軍事問題、猛暑などの気候変動問題等のニュースが後を絶たない。国内では、特殊詐欺グループや推し活をめぐる問題、交通事故や殺傷事件等は定常のニュースとなっている。いじめや体罰は依然として根絶には至らず、安心して生きていける世界・社会であるとは断じきれない。さらに、これから子供たちが生きていく社会は、急速に変化し、予測が困難である。将来、成長した子供たちが安心して生きていける世界の担い手となり、その実現に向けて活躍していくには、子供たち自身が安心してできる環境で、安心して成長していく過程が大事であるとする。本校の教育目標を達成するためには、学校が一人一人の児童にとって安心して生活し、自己実現に向けた成長を実感できる場であることが必須であると捉え、学校経営に臨むこととした。

校長自身が、「平和な世界（だれもが安心して世の中）をつくりたい」という夢を語り、その実現に向けた学校経営の目標を設定することで、方針を明らかにするとともに、学校を構成する「児童・保護者・教師・地域」のそれぞれの立場で捉えることで、協働的な取組を推進していけるように図った。



（学校経営目標の達成状況）

--

学校経営目標

だれもが安心できる学校

児童	通いたい学校	保護者	通わせたい学校
教職員	勤めたい学校	地域	いつまでも誇れる学校

〈目指す学校像〉

子ども一人一人が生かされ、夢や希望に満ちた学校	保護者や地域に信頼される学校	美しく潤いのある学校
具体的な姿 ・子供と教師が共に進む学校 ・学びの喜びや成就感、満足感を体得できる学校 ・特別支援教育を推進する学校 ・問題や課題に対して早期発見、早期対応できる学校 ・来校や対話のしやすい学校 ・ふるさとのおよきを感じる学校 ・静かで落ち着いた環境の中で学べる学校 ・整頓され、整備された学校 ・温かな人のつながりがある学校		

〈目指す児童像〉

心豊かな子ども	・明るく親切で、思いやりがある ・誰とでも仲良く協力する ・自他の生命を尊重する
よく考える子ども	・前向きに学ぶことができる ・しっかりと表現できる ・よりよい考えに気づく
自ら学び、考える力を持つこころしい子	・「西小スタンダード」の共通実践。 ・キャリア教育の推進。 ・発表の場の工夫。
やりぬく子ども	・正しい姿勢と体力づくりに努める ・健康と安全に努める ・目標に向かって最後まで取り組む

〈目指す教師像〉

教育に誇りを持って語る教師	・使命感に激し、指導力の向上を目指す教師 ・人権意識を高めていくことができる教師 ・自らのよさを教育に生かす教師 ・自らを律し、不祥事防止に努める教師
児童理解に努める教師	・子供と共に進む教師（やってみる、見守る、褒める） ・特別支援教育に配慮した教師 ・子供の話をしっかりと聞く教師
信頼と期待に応える教師	・児童一人一人のより良く伸びたいという思いに応える教師 ・保護者と力を合わせて子供を育てる教師 ・ふるさと教育を推進する教師

〈目指す児童像〉達成に向けた方策	努力事項	具体的な取組
心豊かな子ども	○子供の自主的・主体的な活動や協働を推進し、支持的な風土の学級づくりを進め、「いじめを許さない」集団作りを進める。	・道徳教育、人権教育の充実。 ・所属感や充実感のある学級経営。 ・いじめ防止基本方針に基づく実践。
	○児童会・縦割り活動・交流活動等、体験活動を通して、思いやりの心や協働し、主体的に活動する態度を育てる。	・目標の明確化。 ・子供自ら考える場の設定。 ・ふるさと教育の推進。
	○学校図書館、森山図書館の活用を推進し、読書習慣を育成することで豊かな心を育てる。	・読書タイムの充実。 ・NIE教育の推進。
	○生活目標に沿った児童の主体的な取組を通して、自ら気持ちよい生活環境を作ろうとする態度を育てる。	・チャレンジ7の徹底。 ・安全教育の充実。 ・生活事故の防止。
よく考える子ども	○お互いを認め合う支持的風土の醸成により、安心して学習できる雰囲気をつくり出す。	・「西小スタンダード」の共通実践。 ・キャリア教育の推進。 ・発表の場の工夫。
	○学力向上プランをもとにした基礎基本の定着と読解力の向上を図る指導法の研究を実践を推進する。	・学力調査等の分析と手立て。 ・校内研究の充実。 ・はげみタイムの効果的な運用。
	○「西小スタンダード」を基本とした学習活動を展開し、学習規律の定着と、主体的に学び合う態度を育てる。	・重点項目の共通実践。 ・語彙力、言語力の向上。 ・ICT機器の活用。
	○自ら学ぶ家庭学習の習慣化を図る。	・家庭との連携。 ・自らの目標に向けた主体的な学習。 ・自らの学びの評価（振り返りの充実）。
やりぬく子ども	○年間を通して児童が主体的に取り組み体力向上の活動を進める。	・運動会 ・大なわタイム ・ランランタイム
	○健康に生活するための基本的な生活習慣の定着を図る。	・感染症予防対策 ・栄養教諭と連携した食育の推進。 ・家庭への啓発・連携。
	○夢や憧れを抱き、その実現に向けて、課題解決や目標達成のために根気強く取り組む活動を工夫する。	・学級目標、個人目標達成への取組。 ・学級目標、個人目標への取組の評価。 ・地域や人材との交流。

本校における重点課題（合言葉：あへまき）	
あ	あいつでできる子 自分から進んで元気のよいあいつを通して、安心できるよりよい人間関係を構築する。
べ	ベストをつくす子 目標達成を目指して、自分の持てる力を発揮しながら、安心できる未来を切り拓く力を養う。
ま	まほうとする子 学ぶ楽しさを味わい、認め合う学習活動を通して、安心して学力向上に取り組む。
き	きまりをまもる子 いろいろなきまりを理解し、他者を尊重する態度を養うことで、安心できる社会を実現する。

〈目指す教師像〉達成に向けた方策

努力事項	具体的な取組
教育に誇りを持って語る教師	・授業を開き合う。（校内研究の充実） ・経験を問わず授業について語り合う。 ・学力検査の分析をもとにした取組を推進する。 ・人権教育にかかわる研修を実施する。
人権意識を高めていくことができる。	・常に自身の人権意識をアップデートする。 ・「安心」をキーワードに人権教育を実践する。 ・自らの専門性や強みを育む。 （各種研修会への自発的な参加）
○自らのよさを教育に生かす。	・憧れられる大人としての自覚と態度を示す。 ・体罰による指導を行わないための研修を実施する。
○自らを律し、不祥事防止に努める。	・チェックシート等による自己理解に努める。 ・不祥事根絶強化月間を効果的に推進する。
児童理解に努める教師	・いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・児童の姿容をとらえ、そのよさを褒める。 ・凡事徹底による習慣化を図る。
○特別支援教育に配慮する。	・教室環境の整備を常に心がける。 ・保護者や専門職との連携を図る。 ・特別支援教育にかかわる研修を実施する。
○子供の話もしっかりと聞く。	・児童の言葉を敏感に察知し、面談等を行う。 ・あなたのことが大切だ、ということを発信し続ける。 ・問題行動についての指導後は、必ずフォローする。
信頼と期待に応える教師	・児童の自己肯定感・自己有用感の伸長を図る。 ・縦割りの活動など、異学年との交流を充実させる。 ・キャリアパスポートの効果的な活用を図る。
○保護者と力を合わせて子供を育てる。	・通信や懇談会等、教師の願いや教育方針の周知を図る。 ・学習状況についての情報提供や共有に努める。 ・けが等の報告は即時に行い、その後の経過も伝える。
○ふるさと教育を推進する。	・地域の学習材を取り入れた学習活動を工夫する。 ・四季の変化や人々の生活について気づかせるようにする。 ・ふるさと学習について発表の場を設定する。